


ふりがな 氏名	こばたけ さとみ 小畑 怜美	都道府県	東京都	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・認定 NPO 法人カタリバ ・文京区青少年プラザ b-lab (ビーラボ) 広報 			
私のESD活動	"中高生の秘密基地"をコンセプトとした、中高生の居場所とマイ・プロジェクトに挑戦するステージの提供			
ESD活動を表すキーワード	公民連携	秘密基地	中高生向け施設運営	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

■文京区青少年プラザ b-lab(ビーラボ)の施設立ち上げと運営

青少年プラザ b-lab は、東京都文京区に区内初の中高生向け施設として、今年4月にオープンしました。"放課後の秘密基地"をコンセプトとした b-lab は、ほぼ 365 日オープンしていて、談話スペース、勉強、料理、バンド活動、ダンスやバスケ等のスポーツができるスペースがあるほか、文化・スポーツ、進路について相談できるイベントを、年 150 本実施を目標に日替わりで開催しています。当施設の開設準備から運営を、NPO カタリバが区と連携する形で行っています。

b-lab は、中高生の自由な居場所であるだけでなく、「きっかけに会う場」であり「一歩踏み出す挑戦のステージ」であると位置付けています。「中高生が、自分のテーマでプロジェクトを作っていく行為がどれだけ生まれるか」が、施設の大きな評価指標です。取組み例は以下の通り。

- ・ 立ち上げ段階より中高生の参画を重視。「秘密基地を考える会議」を毎月開催。延べ 100 人の中高生が参画し、b-lab の愛称や施設の内装決め、フリーペーパー製作、PR イベントなどを実施。
- ・ 中高生ボランティアスタッフの運営。(これまで、110 名程が参加)
- ・ 学生スタッフと中高生のコミュニケーションに注力。親(縦)でも友だち(横)でもない、ナナメの関係から子どもたちの「やってみたい」を引き出す。
- ・ 地域の学校支援のアウトリーチを行う。また、学校訪問や先生向け b-lab 活動レポートの定期配布を実施。
- ・ 成果として: 約 1,500 名/月の来館者、中高生自主企画の発足、区立中学校全校へのアウトリーチ、近隣地域との連携事業開始など。

・文京区青少年プラザ b-lab(ビーラボ) <http://b-lab.tokyo>

・認定 NPO 法人カタリバ <http://www.katariba.or.jp>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

青少年プラザ b-lab に、(1)中高生の「居場所」と「ステージ」の場づくりと、(2)子どもたちの子どもたちによる「マイ・プロジェクト」が立ち上がる文化を実現させます。また、今後は地域の学校支援において、多様な形のアウトリーチを拡大していき、b-lab と学校の連携をさらに強化させたいと考えます。地域の学校との連携の先に、より子どもたちにとって持続可能な成長の環境を模索していきます。そして、本取組みを全国・世界へ発信しながら、中高生の秘密基地モデルの全国各地へのスケールアウトを目指します。